

分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援、働き方改革、地域連携、一貫プラン、他）

～将来に思いをはせて～

城南小学校 150 周年記念ドリームジョブ

事業の背景・目的

- ・毎年恒例のドリームジョブ、今年度は 150 周年ということで記憶に残る企画にしたいと卒業生にお声がけし講師として参加していただいた

事業の概要

- ・地域で様々な仕事に就いている方々を講師としてお迎えし話を聞くことで職業について興味をもち、自分の将来について考え、実現させる具体的な方法を学ぶ

特徴および工夫した点

- ・卒業生を講師に招いたこと。
- ・自分の先輩方がどうやって今の職業についたのか等、具体的なプロセスを聞くことができた

成果

- ・事前授業で講師の方の職業を調べ
事後授業では、聞いた話の内容をまとめ、発表することができた

今後の展望

- ・聞いたこともないようなたくさんの仕事もあり、お話を聞くことで更に知識も広がるのでこの事業は継続していきたい



児童・生徒の感想

自分の安全をしっかり守れるようになって CA さんとおなじように人の命も守れるようにしたい(日本航空株式会社様宛の感想文より抜粋)

学校紹介

学校名 品川区立城南小学校
校長名 三浦 公平
住所 品川区南品川 2-8-21
電話 03-3471-7919
URL <https://jonan-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 29 年度
登録ボランティア数 45 名
学校地域コーディネーター 松澤 栄里子



分類 その他（地域連携）

「よりよい浅間台小学校にしていくなめには」 品川コミュニティ・スクール DAY 実施

事業の背景・目的

昨年度のコミュニティ・スクール DAY では児童が話し合った本校の課題とその解決策について、校区教育協働委員、保護者から意見、助言をいただいた。今年度はその内容を深め、課題解決に向けてさらに行動できるよう、全校児童と一緒に考えられる機会とした。

事業の概要

品川コミュニティ・スクールに関わっている校区教育協働委員・教職員・児童・保護者・地域住民が熟議を通して、品川コミュニティ・スクールの充実を実感、アピールするとともに、参加者が今後の地域と学校の在り方を検討する機会とする。

特徴および工夫した点

学級会方式で5・6年児童が進行、発表、記録を行ったことで、1～4年児童からも多数の意見、質問が出された。その後、校区教育協働委員、保護者からも助言いただき、活発な意見交流を行うことができた。

成果

本校の課題解決のために5・6年児童だけでなく、全校児童で考える機会となり、意識が高まった。

今後の展望

課題解決の取組については、児童が考えた方法を続け、次年度以降も改善されるまで行っていく。

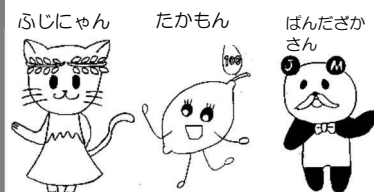
児童の感想

「自分から挨拶したい」、「廊下を走っている人がいたら声をかけたい」、「毎日の清掃をしっかりとやりたい」など、今後の行動変容につながる感想が多数あった。



学校紹介

学校名 品川区立浅間台小学校
校長名 谷脇 仁
住所 品川区南品川 6-8-8
電話 03-3474-2727
URL <https://asamadai-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 34 名
学校地域コーディネーター 北見 明子



浅間台小学校
開校 100 周年記念キャラクター

分類 学習支援

～ひとりひとりが大切な存在なんだよ～

小学生と赤ちゃんとのふれあい事業

事業の背景・目的

- ・児童が赤ちゃんとのふれあい、育児体験をすることで、赤ちゃんを愛おしく思う心を育む。
- ・命の誕生の過程、乳児の成長・発達を知り、命のすばらしさを学ぶ。
- ・一人一人が大切な存在であることを体験し、自己肯定感の醸成を図る。

事業の概要

- ・助産師さんから、命の誕生の過程、乳幼児の成長・発達の話画像を見ながら聞く。
- ・お人形を使い抱っこの仕方、妊婦ジャケットの着用で、妊娠時の大変さを体験する。
- ・赤ちゃんとの交流、お母さんに育児で大変なことや、嬉しかったことなど質問する。

特徴および工夫した点

- ・コロナ禍では中止していたため、昨年度より再開した。三ツ木児童センターの職員の方との打ち合わせをしっかりとし、7月と12月の計2回実施した。当日はファシリテーターの方もたくさん来てくださり、子どもたちの手助けをしていただいた。子どもたちにはマスクとエプロンの着用を徹底した。

成果

- ・赤ちゃんとのふれあっている子どもたちの顔がとても真剣で、小さい命を大切に考えていると思った。穏やかな気持ちになっていた。

今後の展望

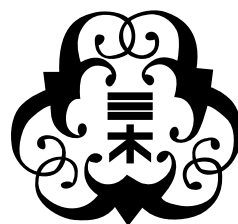
- ・三ツ木児童センターの職員の方と連携を取りながら、今後も5年生を対象とした赤ちゃんとのふれあいを大切にしていきたい。



児童・生徒の感想

- ・赤ちゃんがとてもかわいかった・2回目に来た時歩けるようになっていた
- ・今度児童センターで会えたらまた遊んでみたい

学校紹介 学校名 品川区立三木小学校
校長名 高田 大
住所 品川区西品川3丁目16番28号
電話 03-3491-0404
URL <https://mitsugi-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 90名
学校地域コーディネーター 長井 純子



分類 その他（地域連携）

ごてんやま夏祭り～校庭花火大会～

事業の背景・目的

火気の使用が禁止された公園が多く花火を行うことができないため、近隣住民の協力を得て、地域の子どもたちの夏の思い出づくりのため校庭で夏祭りを開催した。

事業の概要

ジュース、お菓子、輪投げ、射的、どじょうすくいなど、在校生や卒業生を中心に企画運営を行い、実際に販売員としてブースで接客体験などを行う夏祭りを開催。校庭、体育館、各教室で催しを行い、夜にはキャンプファイヤーや、剣舞会による演舞、花火を校庭で行った。

特徴および工夫した点

夏祭りを盛り上げる企画を在校生と卒業生で話し合うことすすめた。安全に配慮するため保護者ボランティアや地域企業、消防団の協力を得ながら行った。

成果

在校生と卒業生と一緒に企画することで学校と地域のつながりが一層深まったと感じた。



今後の展望

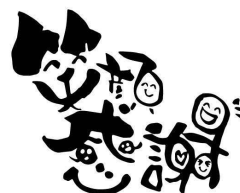
保護者、在校生、そして卒業生が一体となり学校で開催するお祭りを企画することで地域の力をつけたい。

児童・生徒の感想

- ・自分が考えたものが売れたときはうれしかった（小4女子）
- ・家族で花火ができてたのしかった（小2男子）

学校紹介

学校名 品川区立御殿山小学校
校長名 宮崎 朋子
住所 品川区北品川 5-2-6
電話 03-3441-0814
URL <https://gotenyama-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 95名
学校地域コーディネーター 土屋



分類 その他（行事支援）

～自分たちがつくる運動会～

コミュニティ・スクール DAY

事業の背景・目的

昨年度、5年生でコミュニティ・スクール DAYに参加した児童が、今年度は6年生として「自分たちがつくる運動会」を成功させるため、また、継続的实施を目指し5年生も参加し、校区教育協働委員と協議した。

事業の概要

10月：競技内容や係活動について最終プレゼン 11月：運動会実施 12月：運動会の振り返り、5年生は来年度の運動会に向けての意気込みや意見の発表

特徴および工夫した点

- ・昨年度は代表者のみ会場、ほか児童は ZOOM で教室からの参加だったが、今年度は、全員が体育館に集まり、代表以外の児童も挙手し発言しやすい環境で行った。
- ・学校公開日の授業内に設定し、保護者も参観した。
- ・事前に学年での話し合い時間を設け、コミュニティ・スクール DAY 当日は時間を短くした。

成果

ほぼ6年生が運動会の運営を仕切り、大成功に終えることができた。どの学年の児童も「楽しかった」「白熱した」と感想が上がり、児童も教職員もスローガンに向けて一致団結できた。

今後の展望

5年生が引継ぎ、来年度も同じテーマで協議の予定。6年生の意見を間近で聞いた5年児童が、伝統を受け継ぎつつも新しいアイデアで運動会を作れるよう支援していきたい。また、より地域や保護者が関われるよう、討議内容を公開し参観できるよう設定したい。



児童・生徒の感想

- （6年生）皆さんに感謝しながら、最高の運動会にしたい。みんなを感動させてやる！任せてもらえたことが自信になった。
- （5年生）6年生をこえられるような、楽しい運動会を考えていきたい。

学校紹介

学校名 品川区立城南第二小学校
校長名 三浦 一輝
住所 品川区東品川3-4-5
電話 03-3471-7481
URL <https://jonan2-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 86名
学校地域コーディネーター 五月女 祥子



分類 学習支援

地域や学校の良さを、後輩に伝えていきたい！

未来に届け！城二魂プロジェクト

事業の背景・目的

校舎の建て替えやコロナの影響で、学校が変わってしまう不安や学校と地域の隔たりを感じていた6年生が、卒業前に地域や学校にかかわってくださる皆さんに「城二の良さ」をインタビューをして、その内容をまとめ、後輩たちに伝えたいという希望からプロジェクトが始まった。

事業の概要

学校周辺の商店街や公園で、近所に住んでいる方にインタビューを行った。また、校区教育協働委員、PTO会長や役員、ボランティア、町会の代表、卒業生などを教室に招き、「城二小の良さ」や「どのような想いで学校と関わっているか」などの話をうかがった。児童はインタビューの内容をポスターにまとめ、学習発表を行った後、後輩に渡し、新校舎に掲示する。

特徴および工夫した点

学校周辺のインタビューでは、長年地域にお住まいの方々からお話をうかがえた。また、広範囲で活動するために保護者ボランティアを依頼し、保護者にも児童の想いを知ってもらった。

対面、ZOOM、メールといった参加方法を準備し、様々な立場の方をお招きし、普段見守ってくださっている方と直接話をすることができた。

成果

- ・自分の住んでいる地域や学校の良さを見直すことができた。
- ・地域の皆さんに支えられながら生活していることに気付いた。
- ・城二小の伝統を引き継ぐことと、新しいことを取り入れることの大切さを再確認し、それを後輩に伝えることができた。

今後の展望

「コミュニティ」を理解した6年生が、卒業後も、地域のイベントに参加してまちを盛り上げたり、母校の手伝いをしに来てくれるよう、情報共有や呼びかけを続けていきたい。

児童・生徒の感想

学校や私たちのことを、客観的に見てくださっている方々からお話が聞けて良かった。「城二小の良いところを変わず続けてほしい」と言われてうれしかったし、城二小や地域のことを誇りに思えた。



学校紹介

学校名 品川区立城南第二小学校
校長名 三浦 一輝
住所 品川区東品川 3-4-5
電話 03-3471-7481
URL <https://jonan2-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 86 名
学校地域コーディネーター 五月女 祥子



分類 学習支援

みんなで植えよう、未来のごはん！

5年生 田植え・稲刈り体験

事業の背景・目的

今年度も、令和4年度に完成した第2グラウンド横の【水田】を活用した米作りに挑戦した。実際の田植えを体験することで、教科書だけでは得られない理解を深め、自らの手を動かし作物を育てる過程を体験することで、責任感や達成感を育てることを目的とする。

事業の概要

5年生の社会科学習の一環として、【水田】での米作りに挑戦。水田に水を張り、丁寧に土をかき混ぜ、土の表面を平らにする作業（代掻き）を行った。教育委員会指導課学校地域連携係の宮原先生より稲の苗をいただき、直接ご指導のもと、数本の稲の束を植えていった。

特徴および工夫した点

スズメ対策として、稲の周りに園芸用の支柱をたて、隙間がないように網を張った。夏季休業中の稲の生長を保護者ボランティアが見守り、害虫を取り除いたり、水を入れ替えたりした。稲刈りは、児童の安全を考慮して「鎌」でなく「園芸ばさみ」を使用した。

成果

昨年度は鳥類もしくは害獣の被害があり、稲刈りをする事ができなかった（被害が見られたため全滅する前に大人が刈り取った）。今年度は【代掻き・田植えから収穫まで】一連の体験をすることができた。

今後の展望

次年度は、【脱穀、粳摺り（もみすり）】まで子どもたちが体験できるような活動方法を模索し、さらに「試食」まで学習を展開できるようにしたい。



児童の感想

代掻きは水が冷たくてびっくりしたけれど、土・泥の感触が楽しかった。自分で植えた稲を刈り取れてうれしかった。ごはんを残さず食べようと思った。

学校紹介 学校名 品川区立第一日野小学校
校長名 大関 浩仁
住 所 品川区西五反田 6-5-32
電 話 03-3492-6258
URL <https://hino1-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 57 名
学校地域コーディネーター 出口 智子



分類

学習支援 環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

～～～ みんなで力を合わせて課題解決！ ～～～

5・6年生 プログラミング教室

事業の背景・目的

自分が意図した活動を実現するために、どのような順序で動きを組み合わせるかなどを試行錯誤しながら論理的に考えることができるよう、プログラミング教室の導入を検討した。1学年4クラス約120名の児童に授業を実施できる企業・団体を探すことは難しかったが、3・4年生、5年生、6年生と実施してもらえる団体を見つけることができた。

事業の概要

5年生が運送会社の「最適なルートを見つけ出す」という課題解決に挑戦する、センサーロボットを使ったプログラミング教室、6年生が指定されたコース通りにトイドローンを飛行させる、専用タブレットを使用したプログラミング教室を実施。

特徴および工夫した点

100名以上の児童にプログラミング授業ができる企業・団体を探し、講師を多数派遣してもらって、4～5名のグループで課題に取り組めるようにした。5年生は1クラスずつできるよう、2日間にわたって実施していただいた。

成果

児童はITやデジタル技術、プログラミングが自分たちの生活を便利に、豊かにしていることを知り、仮説をたて検証することを繰り返し、楽しみながらプログラミング的思考を学ぶことができた。

今後の展望

3～6年生で毎年プログラミング教室を実施することで、身近な行動を順序立てて考えるプログラミング的思考を育んでいきたい。

児童・生徒の感想

自分で考えたものが目の前で実際に動く様子を見てとても楽しかった。考えた通りに動いた時はとてもうれしかった。自分が思った通りにできるまで何度でもやりたいし、いろいろな方法を試してみたい。



学校紹介

学校名 品川区立芳水小学校
校長名 高木 圭一
住所 品川区大崎 3-12-22
電話 03-3491-1555
URL <https://school.cts.ne.jp/hosui/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 157名
学校地域コーディネーター 清水 真由美



クスク くすじい

分類 学習支援（行事支援 他）

キャッチコピー 共生社会への気づきや学びの機会を提供する

成果事例名称 日本赤十字社 加盟校ならではの学び

事業の背景・目的

探究学習を進めていくにつれて、机上の学習だけではなく、自分たちが伝えるためには体験をしてみたいという声が児童からも教員からもあがっていた。

事業の概要

探究学習発表会に向けて子どもたちが掲げた課題や問いへのヒントになる体験をするため、資材をお借りして学年全員が体験することができた。

特徴および工夫した点

高齢者疑似体験、妊婦疑似体験、視覚障がい者疑似体験、車椅子体験、ポッチャなど必要な体験や学習を行えるようコーディネートを行った。

成果

各疑似体験やレクチャーを通して、探究学習への意欲や学びが深まった。



今後の展望

新年度が始まったら直ぐに教員に青少年赤十字加盟校について周知し、探究学習だけではなく様々な学習に活かしてもらいたい。

児童・生徒の感想

- ・探究学習で学んだことを発表する際には、疑似体験で体験したことや感想を多くの人に伝えたいと思う。
- ・街や駅で点字ブロックを見かけたら、塞がないようにしたい。

学校紹介

学校名 品川区立第三日野学校
校長名 松本 寛
住所 品川区東五反田 1-19-19
電話 03（3441）6452
URL <http://school.cts.ne.jp/hino3/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 164 名
学校地域コーディネーター 河内裕子



分類 授業支援・その他（地域連携）

キャッチコピー 10年、20年、30年とつづく三日野文化

成果事例名称 茶道教室 ～和敬清寂・一期一会～

事業の背景・目的

三日野児童と茶道との出会いは平成16年度のアメリカンスクールとの交流にあたり、当時保護者であった茶道講師今井先生が授業補助を引き受けてくださったことがはじまり。平成17年度から茶道クラブ、平成18年度から市民科茶道教室と、よりよい市民科学習を目指して継続して今井先生が授業を行ってくださっている。

事業の概要

- ・ 市民科文化創造領域 市民科「礼ぎの大切さ」 日本文化の礼儀作法を知る。
- ・ 3年生と4年生、2年連続で茶道授業を体験する。

特徴及び工夫した点

- ・ 児童の様子実態をよく知っていただいている講師による授業が三日野の伝統・文化となっている。
- ・ 和室での茶道授業にあたり、講師や担任と打ち合わせを行った。

成果

- ・ 和室内で本物の設えを体感し、挨拶、言葉遣い、立ち振る舞い、姿勢を味わうことができる。
- ・ 思いやりの態度や感謝の気持ちを育む時間となり、礼儀の大切さに気が付くことができる。



今後の展望

三日野の伝統として続いている和室での茶道授業を続けていくために、ボランティア派遣をつづける。

児童・生徒の感想

- ・ 卒業生がボランティアさんで手伝いにきてくれ嬉しかった。私も卒業したら茶道ボランティアをしたい。
- ・ いつもの和室の空気が違った。クラスみんなや先生とお茶をきちんといただけて嬉しかった。
- ・ 茶道で学んだように、普段から接する相手に対して大切に思えるようになりたいと思った。

学校紹介

学校名 品川区立第三日野小学校
校長名 松本 覚
住所 品川区上大崎 1-19-19
電話 03-3441-6452
URL <http://school.cts.ne.jp/hino3/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 164名
学校地域コーディネーター 河内裕子



分類 その他（地域連携）

キャッチコピー 町会・自治会と学校の絆の再確認

成果事例名称 この地域で共にある 町会と小学校

事業の背景・目的

コロナ禍を経た今、町会と小学校の絆を再認識する場面も増えてきた。しかし、保護者・児童の中には町会について何も知らないという声も増えている。第三日野小学校は学区内に16町会と多くの町会が存在していることも周知していきたい。

事業の概要

大崎第一地域センターから提供していただいた「大崎第一地区 町会・自治連合会」パンフレットを新入生保護者全員に配布をした。

特徴および工夫した点

2月の新入生保護者会にて学校長よりパンフレットと内容について説明。ただし、町会への加入促進が目的ではないことも伝えた。

成果

入学前に説明することで、入学式に来賓として町会の方が列席する意味合いもご理解いただけれると思う。

今後の展望

大崎第一地域センターから引き続き新入生分を提供していただき、いずれ三日野の保護者全員が町会の存在や学校との関わりを知っている状態にしたい。



児童・生徒の感想

今回児童は直接関わっていません。今後、コミュニティ・スクール DAYなどで児童にも地域の町会や自治会について紹介していきたいです。

学校紹介

学校名 品川区立第三日野学校
校長名 松本 寛
住所 品川区東五反田 1-19-19
電話 03(3441) 6452
URL <http://school.cts.ne.jp/hino3/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 164名
学校地域コーディネーター 河内裕子



分類 学習支援

地域でしごとにチャレンジしよう！

2年生 生活科 おしごとたいけん

事業の背景・目的

生活科「しごとにチャレンジしよう」の単元を実施。仕事の楽しさや難しさ、場に応じた適切な言葉づかいや行動に気づき、地域の人々の思いに心を寄せて取り組むことを目標とした。

事業の概要

本校の近隣にある不動前駅通り商店街の商店、本校が連携している施設の児童センター・保育園等、16か所に依頼して、2年生が仕事を体験した。

特徴および工夫した点

コロナ禍以前は3年生で実施していたが、今回は2年生が初めて実施、また児童数が多いことから受け入れについて事前にアンケートをお願いして、1度に2グループ可能、或いは授業を実施する2日とも受け入れが可能か等を把握して、無理がないよう計画した。

成果

2年生は緊張した様子も見られたが、様々な仕事を体験をさせてもらったため、真剣に取り組んだ。受け入れ先からも楽しかったと好評だった。

今後の展望

この授業を通じて本校児童と地域の方々の間に信頼関係が生まれ、よりよい地域社会を目指すことができる。



児童・生徒の感想

お会計をレジの機械を使って頑張ってやった。店員さんは同じ仕事を頑張っていてすごいと思った。今度行ったら笑顔で挨拶したい。

学校紹介

学校名 第四日野小学校
校長名 萩原 忠幸
住所 西五反田 4-29-9
電話 03-3491-1281
URL <https://hino4-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 100名
学校地域コーディネーター 清水 陽子



分類 環境整備支援

地域にアピール

掲示ボランティアによる掲示版装飾

事業の背景・目的

玄関前の掲示板をもっと地域に見てもらえる掲示板にしようと、昨年からアシスタントコーディネーターと掲示板の装飾について考え、ボランティアを立ち上げる準備をしてきた。今年度初めに掲示ボランティアという形で募集して活動を開始した。

事業の概要

毎月末に季節に合った掲示板の装飾をボランティアが行う。

特徴および工夫した点

今年度は、取り掛かりやすいように、昨年の装飾を利用して、少しだけ飾りを変えたり、付け足したりした。活動しやすいように装飾作業で集まった日に次回の日程を決めた。

成果

校門の掲示板の前で立ち止まって読んでいる人をよく見かけるようになった。また、同窓会や地区のお知らせも掲示を依頼されるようになった。

今後の展望

慣れてきたので来年度はボランティアに装飾デザインを考えてもらったり、月ごとの担当を決めて年間計画ができるとよいと思う。



児童・生徒の感想

(児童・生徒の感想) 広報委員会の報告が地域の人に見てもらえてうれしい。

学校紹介

学校名 品川区立大井第一小学校
校長名 吉川 信次
住所 品川区大井 6-1-32
電話 03-3771-5240
URL <https://school.cts.ne.jp/oichi/index.html>
品川コミュニティ・スクール設置年度平成 30 年度
登録ボランティア数 105 名
学校地域コーディネーター 長沼 さおり



分類

鯨浜小学校 読み聞かせ・図書室装飾ボランティア

～子どもたちの想像力と感性を育てる～

事業の背景・目的

読み聞かせによって、本への興味を持たせ、子供たちの想像力と感性を育てる目的で行っています。季節に合った装飾と読んだ本を展示して借りられるようにしています。

事業の概要

毎月1回、1・2・3年生を対象に、朝の15分間で保護者や地域の方々による読み聞かせを行っています。図書室装飾は月2～3回の活動をしています。

特徴および工夫した点

読み聞かせが終わった後は、読んだ本の記録や感想を書きながら、ボランティアさん同士で情報交換をしたり、次回に向けてのミーティングも行っています。

成果

鯨浜小学校はコロナ禍でも読み聞かせだけは継続してきて、子供たちの本を読む冊数もかなり増えました。



今後の展望

低学年の保護者に向けたボランティア募集活動を企画し、対象学年を増やしていきたいです。

児童・生徒の感想

とても真剣に聞いていて、楽しい場面では、声があがるほど盛り上がるので、ボランティアさんもやりがいを感じているようです。

学校紹介

学校名 品川区立鯨浜小学校
校長名 中村 英代
住所 品川区東大井 2-10-14
電話 03 (3765) 2844
URL sameshou.gakkousien@gmail.com
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 99名
学校地域コーディネーター 河出賢美



鯨浜小学校
シャークビーチ
ファミリー

分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援、働き方改革、地域連携、一貫プラン、他）

子どもたち自身で完結できる学習

1年生 朝顔リースづくり

事業の背景・目的

毎年別々に学習をしていた「朝顔栽培・観察」と廃棄予定のさつまいものつるを利用する「リースづくり」を「朝顔」に一体化させることにより、SDGsの目標『6 安全な水とトイレを世界中に』『11 住み続けられるまちづくりを』『12 つくる責任 つかう責任』『15 陸の豊かさを守ろう』の達成を児童たちに身近な行動として感じてもらうことを目的とした。

事業の概要

学校休業日の水やりや、リース作成時のサポートをボランティアへ依頼。

特徴および工夫した点

朝顔を育てることにより SDGs15 を意識させ、雨水を利用することで SDGs6 を達成。道行く近隣の方々にも朝顔を愛でいただきたいと歩行者に見やすい道路側で栽培を行い（SDGs11）、育てた朝顔のつるでリースを作り、種は来年度の入学予定者に配布することによって SDGs12 を達成。それにより1年生の子どもたち自身で完結できる持続可能な学習にした。

成 果

自分たちが育てた朝顔がリースとなり、児童たちの達成感につながった。水やりからも手伝ってくれたボランティアにも SDGs 達成をより身近に感じてもらうことができた。



今後の展望

種まきの段階からボランティアに手伝ってもらいたい。

児童・生徒の感想

「種が付いたままでリースが作れて面白かった。」

「自分が育てた朝顔でリースが作れてうれしかった！」

学校紹介 学校名 品川区立山中小学校
校長名 尾上 佐智子
住所 品川区大井 3-7-19
電話 03-3772-3006
URL <https://yamanaka-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 2017 年度
登録ボランティア数 38名
学校地域コーディネーター 三原 美奈子



分類 その他（行事支援）

社会を知るだけじゃない!プロに対する提案

グッズ開発子ども会議

事業の背景・目的

つくって（株）からご提案をいただき今回で3回目の体験型授業。子どもたちが興味を持ち、しかも社会に貢献できるテーマを据えて、活動を工夫し全員で考え取り組む。

事業の概要

東京のプロサッカーチーム EDO オールユナイテッドの応援グッズを考える。どんな物だとファンが買いたくなるか応援が盛り上がるかを自分の体験も踏まえてデザインし、スケッチしたものを全員で見ながら話し合う。チームから監督と広報の方もいらした。

特徴および工夫した点

本来なら実際に商品にしたものを販売体験するところまでができれば実感が伴うがそこまでの時間が取れないので、事前にグッズのアイデアを考えて絵に描き、授業ではそれをスクリーンに投影しながら全員がプレゼンした。質問や意見もそこで受け付けた。

成果

工夫を凝らしたアイデアが次々と沸き、それに触発されてさらにアイデアが生まれるという活発な好循環が見られた。実施後のアンケートでは楽しかった、またやりたいという意見が96%を超えた。



今後の展望

実際にグッズが作られたらそれを持って応援できれば地域の活性化にもつながり、成果が実感できて楽しくなると思う。また、魅力的なプレゼンとはどういうものかを考えるよいきっかけになった。

児童・生徒の感想

今までにないようなものを発明するのが楽しい。発表するのは恥ずかしいけどみんながいいねと言ってくれたのが嬉しかった。アイデアを絵で発表できるのがみんなすごいなと思った。

学校紹介

学校名 品川区立 立会小学校
校長名 滝淵 正史
住所 品川区東大井4丁目 15-9
電話 03-3474-3424
URL tachiai-es.shinagawa.andreacher.jp
品川コミュニティ・スクール設置年度 2018 年度
登録ボランティア数 226 名
学校地域コーディネーター 梅内 雪江



立会 T シャツ背面デザイン

分類 学習支援

龍馬を知ろう！

品川区と高知のかかわり

事業の背景・目的

数年、地域の団体(しながわ花海道)と坂本龍馬授業を行っていたところ、高知県事務所より提案があり高知県の坂本龍馬記念館学芸員と授業を展開する運びとなった。授業の内容については関係者と試行錯誤を繰り返し、3年前から新たな龍馬授業を始めた。坂本龍馬を知る。

事業の概要

高知県事務所(あいさつ・高知県紹介・講師紹介)
坂本龍馬記念館学芸員(坂本龍馬授業・土佐弁講座)
しながわ花海道(品川と高知県とのかかわり) 質疑応答

特徴および工夫した点

高知県事務所・坂本龍馬記念館・浜川小学校の三者が協力して事業を成立させるために奔走した。

1年目：時間どおりの授業時間内に収めるため、最後は早口になったり、用意していた内容が話しきれなかったりするなど授業構成が課題となった。

2年目：クラス単位から学年合同の授業に変えることで子どもたちの反応が良くなった。理解度も深まったようだった。

成果

自分たちが住む町が土佐藩とゆかりがあり坂本龍馬像が町や浜川中学校に存在する意味を知った。

この授業から、大多数の考えが正しいとは限らないことや、夢や目標に向かって進むとき、困難さは伴うが自分の信念を貫くことがとても大切だと知ることができたのではないだろうか。

今後の展望

更に興味をもち、より深く理解できるよう内容や進め方を充実させていき、校区中学へつなげていきたい。(中学校ではフィールドワークを実践している。)



児童の感想

面白かった。坂本龍馬はすごい人なのと思った。高知県をもう少し知りたいと思う。立会川と高知が関係あるとは知らなかった。

学校紹介 学校名 品川区立浜川小学校
校長名 高橋 壮昌
住所 品川区南大井4-3-27
電話 03-3761-0530
URL <https://hamakawa-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 56名
学校地域コーディネーター 内山 さとみ



分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

3・4・5・6年生 市民科 「ボランティア清掃」

事業の背景・目的

ボランティア活動に対する理解を深めすすんで実践する意欲を育てるため、3・5年生は養玉院、4・6年生は伊藤公墓地に年に一度、ボランティア清掃を行っている。

事業の概要

3・5年生が行く養玉院は、写生会でも利用しているので感謝の気持ちで、4・6年生が行く伊藤公墓地は、伊藤博文のお墓という事で、謙虚な気持ちで掃除をしている。

特徴および工夫した点

例年、一か月以上前に予約を入れ、掃除をしないようにお願いをしている。また、雨天の予備日も事前に打ち合わせをし、必ず掃除ができるように調整している。

成果

公益社団法人「小さな親切」運動本部の方から、ボランティア清掃が10年以上続いている事を受けて、感謝状をいただいた。全校朝会時に校長室で、6年生の児童代表が表彰状を受取り、児童はオンラインにて表彰式に参加した。



今後の展望

地域の方と一緒にボランティア清掃ができるように各町会の方々との話し合いを進めていく。



児童の感想

「きれいに見えたのにこんなに集めた。」「来る時よりもきれいになって嬉しい。」など、成果を喜び、ボランティア活動への意欲を感じる。

学校紹介

学校名 品川区立伊藤小学校
校長名 齊藤 直彦
住所 品川区西大井 5-6-8
電話 03-3771-5331
URL <http://school.cts.ne.jp/ito-e>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 25名
学校地域コーディネーター 植本 理恵



分類 学習支援

地域のお店を知ろう！

2年生 生活科 「町たんけん」

事業の背景・目的

児童が地域にはどのようなお店や施設があるかを知り、実際に働いている人が、どのような仕事をしているかを理解する学習单元。学校地域コーディネーターが、訪問先に依頼・取りまとめを行い、教員の負担を減らすことが目的。

事業の概要

学校地域コーディネーターが、訪問先への訪問依頼・日程交渉。地域の様々なお店や施設に、児童を訪問させていただき、仕事内容や児童からの質問についてお答えいただいた。

特徴および工夫した点

児童が授業時間内で、訪問できるように、学校からできるだけ近いお店へ依頼。インフルエンザ流行に伴い、訪問時の児童はマスク必着とした。当日スムーズに訪問できるように、児童には事前に訪問先への質問内容、質問者を決めて実施するよう教員に依頼。

成果

教員と訪問先の間に入ることで、教員の負担を減らすことができた。地域の方々には、学校地域コーディネーターの理解が得られた。



今後の展望

訪問先のレパートリーを増やし児童がもっと地域とのつながりをもてるようにしていきたい。

児童・生徒の感想

普段は見られない所も見せてもらえて楽しかった。お店の人が朝から頑張っているのがすごかった。

学校紹介

学校名 品川区立鈴ヶ森小学校
校長名 守屋 直孝
住所 品川区南大井 4-16-2
電話 03-3763-6631
URL <https://suzugamori-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 28 年度
登録ボランティア数 75 名
学校地域コーディネーター 竹下 美加



分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

「みんなでよりよいまちをつくろう」

5・6年市民科一貫プラン～品川コミュニティ DAY「熟議」

事業の背景・目的

台場小では「地域は学びのキャンパス」をテーマに、1学年から6学年を通じて地域で様々な学習を実施。5・6学年では、品川宿の歴史や文化、目黒川の水辺環境などの地域資源を教材化し、SDGs「11:住み続けられるまちづくり」「14:海の豊かさを守ろう」について探究的な学習に取り組む。また、地域や社会との関わりを考えるきっかけを得、生まれ育った地域への愛着と誇りを養う機会としたい。

事業の概要

学校×地域×地元企業が連携し、5・6年の2ケ年を通じて地域にある歴史資源、環境を歩きながら実際に見て学び、6学年では集大成として、自分たちのまちの「課題」を考え、調べ、自分たちができることを発表する熟議を行う。熟議で得た地域の方々の意見、アイデアからさらに探究を深め、校区教育協働委員、専門家を招き、実現に向けた提案発表を実施した。

特徴および工夫した点

テーマ「みんなでよりよいまちにするために」に沿って、5学年でのまちあるき&目黒川ツアーを振り返り、6学年の東海道歴史探訪の体験学習から見て、感じた課題や問題点を自分の視点で見い出だしていった。また、質問などがあれば、地域コーディネーターがサポートして調べ学習を深めていった。

成果

探究的な学習の基盤を築き、祭礼、防災、歴史、環境、観光、商店街、公園活用など多岐多様な課題が立てられた。校区教育協働委員、品川区（公園課、環境課、防災課など）、教職員、地域、関連企業など専門家を招いた提案発表会では、12グループ全てが立派にプレゼンし、ゲストティーチャーの専門家から実現化に向けお話をいただくことができた。

今後の展望

子どもたちの意見、提案を地域と連携し実現させることを目指していく。自分たちで考えた仮説を地域のキャンパスで実践できる成功体験をつくっていききたい。

児童・生徒の感想

普段慣れ親しんでいる地域に多くの歴史や文化があることを知った。もっと多くの人に品川宿の良さを知ってもらいたい。目黒川がきれいになってほしい。



学校紹介

学校名 品川区立台場小学校
校長名 中嶋 英雄
住所 品川区東品川 1-8-30
電話 03-3471-3397
URL <https://school.cts.ne.jp/daiba/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 和田 富士子



分類 学習支援

放課後未来塾

事業の背景・目的

昨年度までは参加児童を担任の推薦のみにしていたため、未来塾は勉強が苦手な子が通うところという印象があった。

事業の概要

毎週火曜日の放課後 2～6年生 27人在籍 指導員 1日当たり 7～8人
指導員一人当たり児童 3～4人対応

特徴および工夫した点

今年度は全校児童に募集案内を配布し、未来塾のイメージアップを試みた。

成果

自ら宿題を出して取り組む姿が見られた。

今後の展望

今年度は応募が多く、きめ細かい指導ができなかったため、来年度は各学年に定員を設け、個に応じた指導ができるようにしたい。



児童・生徒の感想

一人で宿題やるのは難しかったから、先生と一緒にできてよかった。

学校紹介

学校名 品川区立京陽小学校
校長名 岩田 環
住所 品川区平塚 2-19-20
電話 03-3781-4775
URL <https://keiyo-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 37名
学校地域コーディネーター 岸 朱実



分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援、働き方改革、地域連携、一貫プラン、他）

詩吟って何？

みんなで歌ってみよう！

事業の背景・目的

5年「古典に親しむ」单元の中で授業で習った「春暁」や小林一茶、松尾芭蕉を地域の詩吟を主催している方から学ぶことで、更に深く学ぶことができる

事業の概要

講師の方から詩吟の歴史、概要の講義を受けた後に実際に講師の方の歌を聞くその後、子供たちが「春暁」の漢詩で歌をうたう

特徴および工夫した点

「古典の世界」を子どもたちに伝えるのに、地域の方で「詩吟」を続けている方がいたことで導入に至った

成果

全く予備知識もない中、独特の詩吟のリズムに素直に声を合わせて歌うことができた



今後の展望

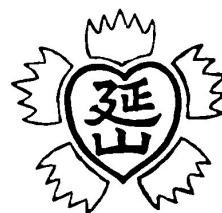
「古典の世界」を学ぶにあたり、地域の方を活用して続けていきたい

児童・生徒の感想

先生は簡単に歌っていたけど、いざ自分が歌ってみるととても難しいと思いました。 詩吟の独特な符号にびっくりしました。

学校紹介

学校名 品川区立延山小学校
校長名 関 拓也
住所 品川区西中延 2-17-5
電話 03(3781) 3806
URL <https://enzan-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 H30 年度
登録ボランティア数 26 名
学校地域コーディネーター 阿部 多喜子



分類 学習支援（地域連携）

4年生・市民科「見つけてみよう私のしごと」

事業の背景・目的

仕事は自分のよさを生かせるものであることを知る。
将来の夢を実現させるためには、目標をもって努力することが大切であることを理解する。

事業の概要

ワールドカフェ方式。講師が児童の質問に答える形で、6～7分程度仕事について話を
する。時間が来たら班ごとに次の講師のところへ移動し、それを五回繰り返す。

特徴および工夫した点

本年は、ギター奏者、ピアノ講師、切り絵アーティスト、元CA、保育士、品川区役所
員の7名を招き、それぞれの職業についての話を聞いた。最後のギター奏者の演奏が
あり、大いに盛り上がった。

成果

質問に答える講師陣の話の掘り下げ方が
巧みで、児童の表情に楽しさと、驚き
が見てとれた。

今後の展望

来年度以降も、引き続き実施予定。
保護者や地域の協力者の人材バンク
も充実させていく。



児童・生徒の感想

「知らない話をたくさん聞けて楽しかった。」「夢を叶えるには、あ
きらめないことが大事だと教わった。」

学校紹介

学校名 品川区立中延小学校
校長名 中郡裕帰
住所 品川区中延1-11-15
電話 03-3781-4016
URL <http://school.cts.ne.jp/nakanobu/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 H29年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 田中良平



「ほうっぴー」
90周年記念
キャラクター

分類 その他(地域連携)

“給食”指導への理解を深める 給食試食会の試み

事業の背景・目的

校区教育協働委員の方々に本校の給食を試食していただき、最近の学校給食の様子を栄養士から説明してもらい、理解を深めていただく。

事業の概要

学芸会当日にこの機会を設定した。子どもたちが給食を食べている様子を見学した後給食を試食した。その後、栄養士が本校の給食について食の安全と特色を説明した。(アレルギー対応や季節の行事・世界の料理を採用した献立等々)

特徴および工夫した点

・給食喫食表の人数の締め切り・代金の徴収・9月の校区教育協働委員会においてご案内し11月に実施となった。・献立はカレーライス・レモンサラダ・リンゴ・牛乳(子どもに人気のもの)

成果

・試食会を通じて最近の学校給食への理解を深めていただけた。・工夫された献立に感心された。



今後の展望

PTAでも試食会をしたいというご意見が出た。保護者も子どもたちとカロリー計算を学べる機会があればという意見もあった。

委員の方の感想

・大変美味しく頂けた。・給食を食べる機会は2度とないと思っていたので嬉しい。・工夫が様々されていることを知った。

学校紹介

学校名 品川区立小山小学校
校長名 森田 佳之
住所 品川区小山5丁目10-6
電話 03-3781-0044
URL <http://school.cts.ne.jp/koyama/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 49名
学校地域コーディネーター 宮本 庸子



分類 その他（地域連携）

大原小学校 CS デイ

テーマ：『大原小学校児童のあいさつ』について

事業の背景・目的

大原小学校児童は、自分たちがあいさつをしていると認識しているものの、学校内外を問わず、自発的にあいさつをする児童は少ない。児童が家庭・学校・地域のあらゆる場面で、自ら進んであいさつができるよう育成することが目的です。

事業の概要

児童によるあいさつ運動やアンケート結果を通じて、現状や改善点、みんなの意識改革など「なぜあいさつが大切なのか」を児童・学校・地域の皆さんがCS デイの場で考える。

特徴および工夫した点

代表委員が校門に立ちあいさつ運動やアンケートを実施。「あいさつをする意味」「あいさつをした後に起こる気持ち」や「学年による意識の違い」などを推察する。また、実際にあいさつをしている人数を調査し、傾向を分析して熟議の視点とした。

成 果

「あいさつ」には様々な形があり、人の心を温かくし、信頼や責任も生まれる。笑顔や感謝を忘れず素敵なあいさつをしたい。
あいさつの活性化へ向けて、児童は年間を通じて様々な活動に取り組み続けることができた。



今後の展望

あいさつは取り組むことが大切。あいさつ運動などの企画も他校の取り組みも参考に考えたい。

児童・生徒の感想

自分たちが思う以上にあいさつをしていない人が多かったことが悲しかった。まずは自分が「朝のあいさつ」から頑張りたい。

学校紹介

学校名 品川区立大原小学校
校長名 隈部 洋子
住所 品川区戸越6-17-3
電話 (03)3781-4487
URL <https://school.cts.ne.jp/oohara/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 H28 年度
登録ボランティア数 50 名
学校地域コーディネーター 田中裕美子



分類 学習支援

プロサッカークラブ『EDO ALL UNITED』ヘグズ・マスコットキャラクターの提案
ミッション「本物の仕事に挑戦せよ」

4年生キャリア型探求学習「グッズ開発子ども会議」

事業の背景・目的

慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員 醍醐氏によって立ち上げられた「つながる探求学習プロジェクト」の一環として出前授業を提供、運営している方とつながり、子どもたちが主体的に考え、アウトプットする力を育むために、商品開発のアイデアを考え、企業へ提案する探求体験学習に挑戦した。

事業の概要

事前課題で、本田圭佑さんが発起人のプロサッカークラブ『EDO ALL UNITED』の小学生向けのグッズやマスコットキャラクターを検討⇒当日『EDO ALL UNITED』COOの方によるオリエンテーション⇒個人、友だちとアイデア出し⇒アイデア発表、質疑応答⇒振り返りアンケート

特徴および工夫した点

子どもたちの興味を高め、取り組みやすい流れを構成することは苦労したが、事前アンケートや当日スライドでお客様、競合チーム、自社について研究することでたくさんのアイデアを出すことができた。企業、運営の方と教員との連携がスムーズだった。

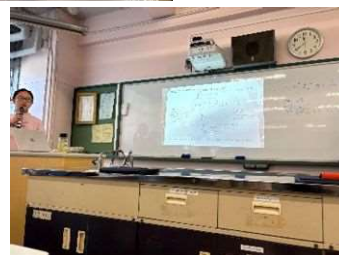
成果

斬新でユニークなアイデアが多く出て、プレゼン能力も高く、お互いの意見を尊重し合う姿も見られ、先方担当者や学校公開で参観していた保護者も感心していた。



今後の展望

学校のニーズに添って、今後も継続して、学年や商品を替えながら探求学習を実施していきたい。教員が積極的に活用できるべく、充実したメニューで働きかけていきたい。



児童・生徒の感想

最初は難しいと思ったけど自分のアイデアが商品化したらすごいな
と思い頑張りました。友達のアイデアを知ることも楽しかった。

学校紹介

学校名 品川区立宮前小学校
校長名 板澤 健一
住所 品川区戸越 4-5-10
電話 03-3781-4386
URL <https://school.cts.ne.jp/miyamae/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 68名
学校地域コーディネーター 村田 綾香



分類

図書 読み聞かせ

子どもたちの「想像力」「集中力」向上にも一役！

事業の背景・目的

ICT 機器が普及する中、人対人の読み聞かせは子どもの集中力、想像力、文章理解力を養うことができる。これは昔も今も変わらず重要であると考え、これからも続けていく必要性を感じる。

事業の概要

年3回の読み聞かせは、6月「あじさい読書週間、10月「どんぐり読書月間」を先生方が担当。ボランティアは1月の「こたつで読書週間」を担当した。

特徴および工夫した点

読み聞かせの日にちを、学年別に6日間で設定した。
本を読む以外に、本を題材にした語りのものも可能とした。

成果

読み聞かせの日にちを学年別に分けたので、ボランティアの割り振りが好評であった。

今後の展望

今年度のように読み聞かせの実施日を学年別に分けると、読み聞かせが好きなボランティアは複数回できて活躍の場がある。

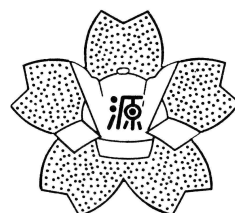


児童・生徒の感想

- ・本を読むだけでなく、お話会のようなものもあってよかった。
- ・実際にあったお話を聞いて、とても面白かった。

学校紹介

学校名 品川区立源氏前小学校
校長名 坂詰 晃
住所 品川区中延 6-2-18
電話 03-3781-4348
URL <https://school.ne.jp/genjimaie/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 75名
学校地域コーディネーター 中井 晃



分類 その他

楽しみながら

「図書ボランティア・ブックママ」

事業の背景・目的

朝読書の時間が出来た時に、本を読むことに興味が薄い児童に、本に親しむ楽しさを知ってほしいとの当時の校長先生の思いからPTAに提案がありスタート。コーディネーターがかかわる前は図書担当教諭が募集、日程調整、連絡等行っていたが、数年前よりコーディネーター、アシスタントコーディネーターが、担当するようになる

事業の概要

図書室のカウンター業務補助、図書関係の装飾、読み聞かせを随時行っている

特徴および工夫した点

1年ごとに保護者からボランティアを募り自身のかかわりたい部門に登録。読み聞かせの日程は図書担当の教諭が決め、コーディネーター、アシスタントコーディネーターが当番表を作成し、クラスを通して連絡している

成果

児童が教員以外とのかかわりができるとともに、保護者が仕事に行く前にも学校に来て児童の様子などについて知ることができる



今後の展望

現役の保護者以外のボランティアの受け入れ・図書ボランティアでグループ化し自主的に活動を行うなどを模索中

児童・生徒の感想

先生以外の人から話が聞けるので楽しい
知っているお父さんやお母さんが来てくれるのでうれしいなど

学校紹介

学校名 品川区立第二延山小学校
校長名 名本 裕
住所 品川区旗の台 1-6-1
電話 03-3781-1348
<http://school.cts.ne.jp/enzan2/index.html>
品川コミュニティ・スクール設置年度 29 年度
登録ボランティア数 地域 20 名 保護者 50 名
学校地域コーディネーター 石坂 美苗



分類 学習支援（地域連携）

・・・まちの人、まちの音色・・・

4年生 音楽科 お祭りばやし、きいてみよう、やってみよう！

事業の背景・目的

音楽科の教員より地域のお囃子の授業の要望があり、急遽町のお囃子の会に相談。10代から80代までの後地卒業生を招き、後地の太鼓の歴史を学び、篠笛に合わせての演奏を体験させていただいた。地域愛、後地愛にあふれた授業を実施。

事業の概要

- ① 楽器の説明、お祭りの歴史、地域の特徴などを学ぶ。
- ② 実演を見る、聞く。
- ③ 実際に篠笛に合わせて太鼓をたたく体験をする。

特徴および工夫した点

まちの人と学校の活動を、本当に必要な時に、内容に合わせてコーディネートしたいと思っていたので、良い機会となった。地域の方にはお祭りの感じで来てもらうよう伝え、雰囲気づくりにも工夫した。

成果

和楽器にふれる貴重な機会となった。音を通して地域活動が身近になった様子が見られた。後日、太鼓の会に参加したいと申し出た児童がいて、地域活性にも協力できた。



今後の展望

授業内容に関連させた支援のため、今後に向けて地域の協力体制を強化しておきたい。

児童・生徒の感想

おみこしの太鼓を初めて見た。お囃子やってみたくなった。笛の音がかっこよかった。授業後も楽しそうにリズムを口ずさんでいた。

学校紹介

学校名 品川区立後地小学校
校長名 西川 幸延
住所 品川区小山 2-4-6
電話 03-3781-0890
URL <https://school.cts.ne.jp/ushiroji/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 30 年度
登録ボランティア数 120 名
学校地域コーディネーター 右城 香奈恵



分類 学習支援

未来のホッケー選手を目指して!!

オリンピックに学ぶ「ホッケー教室」

事業の背景・目的

オリンピックイヤーだった今年、3大会のオリンピックで活躍された元日本代表の選手をお招きして、オリンピックのお話、ホッケーの指導をしていただいた。

事業の概要

ホッケーを始めたきっかけから日本代表の選手になるまでの経歴や、実際にオリンピックで活躍されたお話をしていただき、その後実際にホッケーの体験をした。

特徴および工夫した点

体育館でプロジェクターを使い、オリンピックや品川区内にある競技場の画像を見た後、スティックを使いパスやシュートの指導を受けホッケーに興味をもてるようにした。

成果

オリンピック選手になるためにはたくさんの練習が必要で、何事にも努力が必要という事がわかった。



今後の展望

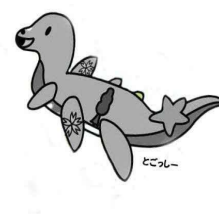
元オリンピック選手の話聞いてスポーツの楽しさ、努力の大切さを考えて行動していきたい。

児童・生徒の感想

実際、競技のたのしさ、ホッケーの魅力がわかった。

学校紹介

学校名 品川区立戸越小学校
校長名 川田 重久
住所 品川区豊町2-1-20
電話 03-3781-2856
URL <https://school.cts.ne.jp/togoshi/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 30 名
学校地域コーディネーター 矢吹 陽子



分類 学習支援

江戸野菜を育てよう！

2年生品川かぶの学習

事業の背景・目的

ここ数年、毎年、2年生が行っている品川かぶの栽培。事前に品川かぶの歴史や栽培方法について学んだ後、種まきから収穫までを体験することで品川かぶについてより深く知ることができる。

事業の概要

- ・写真やイラストを使用し、品川かぶの歴史や栽培方法などの事前学習をおこなう。
- ・種まきから収穫までを体験する。
- ・品川神社で行われる品評会に出品する。

特徴および工夫した点

栽培場所を日当たりのよい場所に変えて、種をまく時期も例年より早めに設定した。また、青虫がつかないように、種をまいてからすぐに、寒冷紗をかける作業を行った。子どもたちにも、こまめに様子を見にいくようにうながし、水やりもお願いした。

成果

青虫に食べられることなく、すくすくと成長し、いつになく立派な品川かぶを収穫することが出来、品評会で「特別奨励賞」を頂いた。



今後の展望

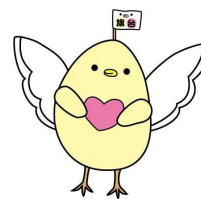
品川かぶを含めた菜園ボランティアをもっと増やしていきたい。植物と子どもたちが積極的に楽しく関われるように工夫していきたい。

児童・生徒の感想

小さな種から、立派な品川かぶができて、とてもうれしかったです。どんな味がするのか楽しみです。

学校紹介

学校名 品川区立旗台小学校
校長名 遠藤 和朗
住所 品川区旗の台 4-7-11
電話 03-3785-1687
URL <https://school.cts.ne.jp/hatano/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 45名
学校地域コーディネーター 近藤 直子



90th hatanodi

分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

地元愛満載

3年生 地域の工場見学

事業の背景・目的

3年生「学校の近くの工場調べ」の授業のため、地元にある工場に見学をお願いした。工場の社長とそのお子さん達が上神明小学校の卒業生であることも背景の一つである。

事業の概要

工場の仕事にはどのような工夫があり、私たちの暮らしとどのような繋がりがあるかを学習する。

特徴および工夫した点

工場が狭いので44人を4つの班に分け、見学時の児童の安全や学習内容について、会社の方と綿密に打ち合わせを行った。

成果

見学した工場はプラスチック加工の工場だが、製品を生産するだけでなく、環境への取り組みもしており、SDGs に関して学ぶ機会となった。



今後の展望

今回で2回目だが、今後も引き続き3年生の工場見学をお願いしたい。またCS事業への参加にも繋げていきたい。

児童・生徒の感想

色々な話を聞いて勉強になっただけでなく、工場の仕組みや工夫について学ぶことができた。

学校紹介

学校名 品川区立上神明小学校
校長名 滝沢 二三雄
住所 品川区二葉4-4-10
電話 03-3781-4792
URL <https://kamishinmei-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度28年度
登録ボランティア数 21名
学校地域コーディネーター 小宮 佳美



分類 学習支援・その他

「品川コミュニティ・スクール DAY in 清水台小学校」

6年生の「よりよい学校づくりを目指して」児童会活動の活性化

事業の背景・目的

本校の児童会活動が「与えられた仕事」に取り組む様子が多く見られたことから、児童が主体的に児童会活動に取り組めるようにしたいと考えた。

事業の概要

「より良い学校づくり」を目的に据え、そのためにそれぞれの委員会活動を通して何ができるかを考え、提案し、実行した。

特徴および工夫した点

- ・6年生の児童が目指す「より良い学校像」を明確にしたこと。
- ・教員や校区教育協働委員の方々に実際に提案をし、実現可能な内容にしたこと。

成果

- ・児童が学校全体に目を向けるようになり、提案した以上の取り組みを委員会同士で連携しながら取り組み、学校に前向きな影響を与えた。



今後の展望

- ・来年度以降も、児童が主体的に児童会活動に取り組む風土を定着させ、さらなる発展を目指していきたい。

児童・生徒の感想

- ・提案したことが実現できて嬉しかった。
- ・他の学年がきちんと取り組んでくれてやってよかったと思った。

学校紹介

学校名 品川区立清水台学校
校長名 深尾 剛
住所 品川区旗の台1-11-17
電話 03-3781-4841
URL
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 名
学校地域コーディネーター 湯川 泉



分類 学習支援

25年以上続く伝統

読み聞かせボランティア『バルーン』

事業の背景・目的

ゆっくり本に触れる時間がないので、時間を作ってあげたい。
伝統ある読み聞かせボランティアの方を継続するために、新規のボランティアを増やし、既卒のボランティアの方を大事にして交流を深めてもらいたい。

事業の概要

図書ボランティア『バルーン』による朝読書の時間の読み聞かせ
各学年各学期に一回ずつ、教室やワールドルームにて実施

特徴および工夫した点

基本的にはお子さんの学年の保護者の方にグループを作ってもらい、本の選定から読む順番、読む担当の方を決めて頂いているが、人が足りない場合、既卒の保護者や、他学年の保護者に声掛けして行っている。

成果

自分の読んだことのない本への関心が引き出せた
知っている話でも、大型紙芝居など迫力ある作品に見入っていた。
朝の短時間のボランティアである為、出勤前など参加しやすく、参加人数が増えた。



今後の展望

家庭でゆっくり本を読んであげる時間のない保護者と、読んでもらう機会の少ない子どもたちに、もっと色々な分野の本に興味を持ってもらいたい。

児童・生徒の感想

大きな紙芝居は見た事がなかったため、迫力があって面白かった。
みんなで同じ本をみたので、感想を話し合えた。

学校紹介

学校名 品川区立小山台小学校
校長名 伊藤 健治
住所 品川区小山台1丁目18番地24号
電話 03-3712-7587
URL <https://school.cts.ne.jp/koyamada/>
品川コミュニティ・スクール設置年度平成30年度
登録ボランティア数 103名
学校地域コーディネーター 飯野 貴子

